

2016年2月号

横須賀小川町教会新聞No.130
2016年2月1日発行

小川町の鐘

発行者 日本キリスト教団
横須賀小川町教会
牧師 寺田信一
住所 横須賀市小川町7
電話 046-822-2463
<http://ogawachurch.sakura.ne.jp>

第24回

「ヴェルニーさんの祈り」

牧師 寺田 信一

昨年、その創設150周年の記念イベントが催され、私も見学してきた「横須賀製鉄所」。今はその一部をアメリカ海軍横須賀基地の中に見ることができます。この製鉄所の計画の立案と実行に携わったのは、フランス海軍のフランソワ・レオンス・ヴェルニー（1837～1908）。あのヴェルニー公園のヴェルニーです。

ヴェルニーは南フランスの山岳地帯にあるオブナという町（ジャムやマロングラッセの生産地として有名）で生まれましたが、リヨンの国立高等学校に入るために16歳で故郷を離れました。そして1856年にパリの理工科大学、1858年には海軍造船学校へと進学。しかもこれらの学校を皆優秀な成績で卒業し、25歳で二等造船技師の資格を取得してフランス海軍に入り、北西の港町ブレストにある海軍工廠で働き始めます。

1862年、このヴェルニーに中国（寧波）行きの命令が下りました。それは18か月で4隻の砲艦を建造するという難しい任務です。けれどもヴェルニーは寧波の副領事を兼任しながらこれを遂行し、1864年に完了させてしまいます。大変な功績でした。そんなヴェルニーが帰国しようとしたところ、日本（横浜）にいたフランス海軍提督がヴェルニーを招致します。理由は、江戸幕府が江戸近郊に造船所を建設するための支援をフランスに要請して来たからでした（ちなみに、この計画を推進したのが小栗上野介忠順です）。

ヴェルニーは事態を理解して一端帰国。造船に必要な機械、工具を買い求め、造船施設の建設に長けた技術者を確保します。そして1865年11月15日に起工された横須賀製鉄所の首長に就任するため、翌年4月25日、再び日本に訪れました。1867年には上海総領事の娘と結婚し、夫婦そろって横須賀に暮らし始め、後に一男二女を授かります。また、建設作業が進むにつれ、ヴェルニーの家族を初めとするフランス人技師たちの生活環境が整備されるようになります。例えば、製鉄所には医師が常駐し、職員・職員のけがや病気の治療に当たりました。そしてもちろん、住宅や集会所なども建てられるわけですが、ヴェルニーがどうしても建設したかったのが「礼拝堂」でした。自分が携わっているこの仕事を、何よりも神から託された業として受け止めていたヴェルニーは、そのための祈りをささげる場所を求めていたのです。けれども、日本はまだ幕末の禁教下にあり、幕府の公式文書には決して

て教会関係の建物を建設するとは書けません。



そこで現場工事を担当した責任者の手帳には、公式呼称として「学校所」と記載し、これを略図では「寺」と記載したそうです。すなわち、現場では「これが西洋の寺である」と認識され、お上には「勉学を教えるところ」と解釈されたのでしょう。そして1867年末、ついに礼拝堂が完成します。その本体は正面幅7.9m、奥行17.0mの134㎡。高さ2.0m（軒まで9.5m）の木造瓦屋根の造りで、寄合所と拝殿とに分かれていたようです。また、礼拝堂につながる通称「司祭館」には食堂や客間、家来部屋などが設けられていたようですが、「懺悔室が無いなどカトリック教会としての機能は十分ではなかった」とのこと（学芸員解説）。しかし、これらすべてが「天主堂」と呼ばれ、旧横須賀村小字内浦の馬場周辺（基地入口近く）にあったとされ、ヴェルニー自身はこの建物を随分と気に入っていたということです。

しかし、その後、1871年に第1号ドック（現存）が完成したことを機に製鉄所は造船所と改称。更に日本人技術者が成長して来るにつれて海軍の方針も変わり、ヴェルニーは勤続約10年でお役御免。1875年末に解任されることになりました。

「事業半ばで横須賀を離れることになったが、近い将来、日本に創設した造船所が成功し、その名声を万国に示すことができれば、私のもっとも喜びとするところである」と語り、ヴェルニーは1876年3月に帰国します。その後、海軍関係の仕事に従事した後、鉾山経営を営みますが、1908年5月、生まれ故郷のオブナで71年の生涯を閉じました。聞けば、その時にはもう既に、ヴェルニーが建てた横須賀の礼拝堂は解体されていたそうです。何ともさびしいことですね。しかし、ヴェルニーの祈り、すなわち横須賀をはじめ日本の隣人のためにささげた祈りは、私たち現代の横須賀に在る教会に今も受け継がれています。



スプリングコンサート 協力 横須賀学院

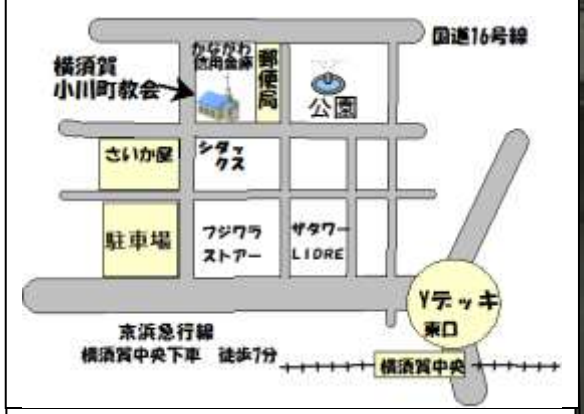
3/13(日) 13:30 開演 開場 13:00

出演 横須賀学院 ハンドベルクワイア
「花は咲く」・讃美歌「いつくしみ深き」「馬槽の中に」他
横須賀学院 聖歌隊
讃美歌「アメージンググレイス」
「君は愛されるため生まれた」他

会場 横須賀小川町教会 礼拝室 入場無料

特別説教礼拝
「神の愛こそ我が希望」
寺田 信一 牧師
三月三日(日) 午前10時20分

・主日礼拝
日曜日 午前10時30分
・教会学校
毎週日曜日 午前9時から10時
のための礼拝があります。



教会にはエレベーターが設置されています。また、身障者用トイレも整備されています。視覚障害の方には、点字聖書が用意されています。